

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽アーティスト科

ドラムスコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	51	51	必修	講義	○	102
	デビュー・就職実務Ⅰ	80		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		53	必修	講義		-
	著作権		19	必修	講義		-
	PC実習	54		必修	講義		-
	選択授業	36	36	必修	講義		-
	異文化研究	20	20	必修	講義		-
	イベント制作実習A	141	126	必修	実習	○	267
	イベント制作実習B	283	288	必修	実習	○	571
専門科目	DTMⅠ	36		必修	実習	○	36
	DTMⅡ		36	必修	実習	○	36
	ドラムス実践Ⅰ	36		必修	実習	○	36
	ドラムス実践Ⅱ		36	必修	実習	○	36
	ドラムストレーニングⅠ	34		必修	実習	○	34
	ドラムストレーニングⅡ		34	必修	実習	○	34
	ドラムス専攻実技Ⅰ	34		必修	実習	○	34
	ドラムス専攻実技Ⅱ		34	必修	実習	○	34
	ドラムス実技Ⅰ	34		必修	実習	○	34
	ドラムス実技Ⅱ		34	必修	実習	○	34
	ドラムスセオリーⅠ	34		必修	実習	○	34
	ドラムスセオリーⅡ		34	必修	実習	○	34
	アンサンブル実習	34	34	必修	実習	○	68
							-
						-	
						-	
						-	
						-	
合計	総授業時間数	907					
合計	総授業時間数		835				合計
卒業時最少時間		1742					1424

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	51 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望：I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出 就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策(自己PRの練習) 就職志望：面接対策(自己PR、志望動機の練習)
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック 就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出 就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：②面接対策(自己PR、志望動機の練習)
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
16	アーティスト志望：③【活動報告書】の作成と提出 就職志望：③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。科目数は毎年約30科目ほどである。各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	141 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	283 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	126 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	288 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM II		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実践Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1、チェンジアップなど、ドラムの基礎的な部分の理解、習得。 2、スティックコントロール、フットワークなどの理解、習得。 3、応用的なフレーズ、ビートなどの理解、習得。 4、曲に合わせた技術の応用。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、スキルチェック
2	チェンジアップ、ストロークの確認
3	チェンジアップの復習と発展、ストロークの確認
4	発展的なバッド練習、フットワークの確認
5	発展的なバッド練習のドラムセットへの応用、フットワーク確認
6	フィルインの考え方、創作フィルなど
7	曲に対するアプローチの考え方①
8	曲に対するアプローチの考え方②
9	フレーズの考え方①
10	フレーズの考え方②
11	フレーズの考え方③
12	自由曲課題①
13	自由曲課題②
14	自由曲課題③
15	自由曲課題④
16	自由曲課題⑤
17	自由曲課題⑥
18	自由曲課題⑦
19	ドラムス実践課題発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露50%、自由曲20%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。 新潟県音楽スクールにてドラムス講師を行う。 リズム&ドラムマガジン(リットーミュージック)主催「誌上ドラムコンテスト 2021」一般コース グランプリ受賞。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、チェンジアップなど、ドラムの基礎的な部分の理解、習得。 2、スティックコントロール、フットワークなどの理解、習得。 3、応用的なフレーズ、ビートなどの理解、習得。 4、曲に合わせた技術の応用。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、スキルチェック
2	チェンジアップ、ストロークの確認
3	チェンジアップの復習と発展、ストロークの確認
4	発展的なバッド練習、フットワークの確認
5	発展的なバッド練習のドラムセットへの応用、フットワーク確認
6	フィルインの考え方、創作フィルなど
7	曲に対するアプローチの考え方①
8	曲に対するアプローチの考え方②
9	フレーズの考え方①
10	フレーズの考え方②
11	フレーズの考え方③
12	自由曲課題①
13	自由曲課題②
14	自由曲課題③
15	自由曲課題④
16	自由曲課題⑤
17	自由曲課題⑥
18	自由曲課題⑦
19	ドラムス実践課題発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露50%、自由曲20%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。 新潟県音楽スクールにてドラムス講師を行う。 リズム&ドラムマガジン(リットーミュージック)主催「誌上ドラムコンテスト 2021」一般コース グランプリ受賞。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムトレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーディメンツ課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	個人のスキルチェック。読譜力等。 デイリーエクササイズ説明。(A課題、初見演奏を見据えたもの、毎回行います。) スティックコントロール、7級A課題導入。 自由曲選定基準説明。4曲選定。
2	7級初見課題解説。(初めて見る楽譜を30秒予見後指定されたテンポで演奏) B課題練習開始。(オルタネイトの16th Feel) 自由曲決定、音源準備(宿題)
3	7級A課題対策。(8分音符、タイ、16分音符) 7級B課題対策。(両足、16分音符の足) 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
4	7級A課題練習。(3連符、アクセントショット、フラム) 7級B課題練習。(スローテンポ16th Feel) 個人差で8級、6級指導 自由曲(宿題)
5	自由曲宿題チェック。 マスターリズム譜作成の指導。
6	7級A課題練習。 7級B課題練習。(Fill in、4小節のリピート展開) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
7	7級B課題練習。(アップテンポのロックビート、シャッフル、ワルツ) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
8	自由曲宿題チェック(生徒の皆さんにそれぞれ評価してもらいます。) ここまでマスターリズム譜完成。 本番の流れ、対策説明。
9	7級デモ試験。
10	自由曲演奏。 自由曲(4~5曲)は夏期休業中宿題。
11	7級A課題復習。 7級B課題復習。 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
12	初見演奏対策、テンポキープ(チームA) 7級B課題練習(チームB)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
13	初見演奏対策、テンポキープ(チームB) 7級B課題練習(チームA)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
14	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
15	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
16	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
17	グレード試験デモ。 最終調整。
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムトレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>ドラマーとしてのリズムキープを年間通して指導。 ボディバランス強化のため筋トレ実施。 ドラマーとしての体づくり、メンタル強化。</p> <p>授業を通して挨拶、返事などの礼儀も含め人間性も高めていけるよう 毎回の授業での意欲を重視する。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【目標設定をしよう！】 1年生時の見直し、2年生時としての動機付け、卒業後の目標設定 筋トレ、コアトレーニング実施、ドラムセッティングチェック実施。
2	【自分の限界を知ろう！】 簡単な8ビートをゆっくりなテンポ(BPM60)から、速いテンポ(BPM200)まで徐々にあげていき 自分がどれだけ叩けないかを知る。
3	【ノリを一定に保とう！】① ハイハットを4、8と刻みを変化させ、テンポキープするがノリを一定に保つ練習 一定なリズムを作ってから、アクセントを付けてビートのバリエーションを知る。
4	【ノリを一定に保とう！】② 実際に使用されている曲からピックアップして、実践的にリズムキープ。 ビートのバリエーションを更を知る。
5	【ノリを一定に保とう！】③ ※5月まとめ ギターのためのインスト曲に自分が考えたリズムフレーズを付けて叩いてみよう。
6	【有名アーティストのフレーズを叩こう！】① 歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。
7	【有名アーティストのフレーズを叩こう！】② 歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。
8	【前期課題配布】 前期行った事を踏まえた課題をピックアップ。 次週にオーディション形式で課題チェックを行う
9	前期課題チェックテスト
10	後期は実践形式で授業を行う。 一つのライブ行うとしたら？を課題とし、自由曲と題して、10曲+アンコール2曲で全12曲用意。 実際にLIVEを行う気持ちで12曲を叩ける事が目標。最終日に全曲通し。
11	【自由曲練習】① 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
12	【自由曲練習】② 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
13	【自由曲練習】③ 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
14	中間発表 自由曲12曲を披露
15	【自由曲練習】④ 全体の流れ、曲順番、構成の再チェック。
16	【自由曲練習】⑤ 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
17	模擬LIVE①
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲40%、 後期自由曲課題披露80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価は(S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可))の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1.ドラム演奏の知識や、技術を基礎から応用まで学ぶ。 2.身体の使い方に着目した無理の無い、演奏フォームを身に着ける。 3.成功体験を重ね、モチベーションを保つ方法を身に着ける。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	講師デモ演奏・個人面談・ドラムの座り方、スティックの持ち方、4つのストロークの解説。 アクセント移動、8ビート・裏打ちを眼界まで行う。
2	4つのストロークの復習。オープンリムショットについて、音符について理解する。 バッドラムの踏み方。8ビートの色々なバスのパターンを行う。
3	ダブルストロークの基本。ルーディメンツの重要性について。フィルの作り方について。課題曲の提示。
4	バラデイドルの解説。フラム・ドラッグの説明、バッドラムのダブルの踏み方。課題曲の発表。評価。
5	バラデイドルの復習。ハイハットのアプローチについて。 ライブの時のリハーサルの流れや、サウンドチェック時に確認する事などを教える。
6	バラデイドルの派生形、3つ割のフィルや考え方について。 シングルストローク、ダブルストローク、バラデイドルの基礎練習。
7	6連系のルーディメンツ。ビート練習 9回目の授業でドラムソロをする告知。
8	6連系のルーディメンツの復習。 各自ドラムソロ練習、スタジオ巡回。
9	ドラムソロ発表(動画撮影)次回授業の告知(面談と、今まで授業で行ったルーディメンツテスト)
10	ルーディメンツの確認テスト3種類。バラケッタの解説。面談。
11	5連符の解説。簡単な叩いて見たの録り方を実演。SNS等での動画再生の伸ばし方。 13回目の授業までに動画提出。
12	バラデイドルのアクセント。 様々なビート①。 次回課題の質問等を聞く。提出方法を説明。
13	全期のアクセントの復習。 様々なビート②
14	フラムアクセント・フラムタップ・ツインペダルを使ってみる(手足のコンビネーション・ツービート)。
15	前回のルーディメンツの確認。 ツインペダルを使ってみる(16分音符など)
16	ドラム講師体験(初心者に教える設定) 評価週での課題(テスト)を発表。
17	ドラムソロ発表。評価
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.ドラム演奏の知識や、技術を基礎から応用まで学ぶ。 2.身体の使い方に着目した無理の無い、演奏フォームを身に着ける。 3.成功体験を重ね、モチベーションを保つ方法を身に着ける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	講師デモ演奏・個人面談・ドラムの座り方、スティックの持ち方、4つのストロークの解説。 アクセント移動、8ビート・裏打ちを眼界まで行う。
2	4つのストロークの復習。オープンリムショットについて、音符について理解する。 バズドラムの踏み方。8ビートの色々なバスのパターンを行う。
3	ダブルストロークの基本。ルーディメンツの重要性について。フィルの作り方について。課題曲の提示。
4	バラデイドルの解説。フラム・ドラッグの説明、バズドラのダブルの踏み方。課題曲の発表。評価。
5	バラデイドルの復習。ハイハットのアプローチについて。 ライブの時のリハーサルの流れや、サウンドチェック時に確認する事などを教える。
6	バラデイドルの派生形、3つ割のフィルや考え方について。 シングルストローク、ダブルストローク、バラデイドルの基礎練習。
7	6連系のルーディメンツ。ビート練習 9回目の授業でドラムソロをする告知。
8	6連系のルーディメンツの復習。 各自ドラムソロ練習、スタジオ巡回。
9	ドラムソロ発表(動画撮影)次回授業の告知(面談と、今まで授業で行ったルーディメンツテスト)
10	ルーディメンツの確認テスト3種類。バラケッタの解説。面談。
11	5連符の解説。簡単な叩いて見たの録り方を実演。SNS等での動画再生の伸ばし方。 13回目の授業までに動画提出。
12	バラデイドルのアクセント。 様々なビート①。 次回課題の質問等を聞く。提出方法を説明。
13	全期のアクセントの復習。 様々なビート②
14	フラムアクセント・フラムタップ・ツインペダルを使ってみる(手足のコンビネーション・ツービート)。
15	前回のルーディメンツの確認。 ツインペダルを使ってみる(16分音符など)
16	ドラム講師体験(初心者に教える設定) 評価週での課題(テスト)を発表。
17	ドラムソロ発表。評価
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.読譜能力の習得 2.即興演奏力の習得			
------	-------------------------	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	8分音符を用いた譜面の初見演奏 音符、楽譜の読み方のレクチャー
2	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
3	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
4	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
5	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
6	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
7	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
8	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
9	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
10	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
11	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
12	17分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
13	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
14	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
15	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
16	生徒自身で作成した初見演奏用の楽譜を、グループ内で交換し実践 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
17	音符の組み合わせが複雑な譜面を用いての初見演奏 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 宜久		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	34 時間
			対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.読譜能力の習得 2.即興演奏力の習得
------	-------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	8分音符を用いた譜面の初見演奏 音符、楽譜の読み方のレクチャー
2	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
3	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
4	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
5	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
6	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
7	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
8	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
9	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
10	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
11	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
12	17分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
13	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
14	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
15	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
16	生徒自身で作成した初見演奏用の楽譜を、グループ内で交換し実践 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
17	音符の組み合わせが複雑な譜面を用いての初見演奏 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムスセオリー		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーティン課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	個人のスキルチェック。読譜力等。 デイリーエクササイズ説明。(A課題、初見演奏を見据えたもの、毎回行います。) スティックコントロール、7級A課題導入。 自由曲選定基準説明。4曲選定。
2	7級初見課題解説。(初めて見る楽譜を30秒予見後指定されたテンポで演奏) B課題練習開始。(オルタナイトの16th Feel) 自由曲決定、音源準備(宿題)
3	7級A課題対策。(8分音符、タイ、16分音符) 7級B課題対策。(両足、16分音符の足) 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
4	7級A課題練習。(3連符、アクセントショット、フラム) 7級B課題練習。(スローテンポ16th Feel) 個人差で8級、6級指導 自由曲(宿題)
5	自由曲宿題チェック。 マスターリズム譜作成の指導。
6	7級A課題練習。 7級B課題練習。(Fill in、4小節のリビート展開) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
7	7級B課題練習。(アップテンポのロックビート、シャッフル、ワルツ) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
8	自由曲宿題チェック(生徒の皆さんにそれぞれ評価してもらいます。) ここまでマスターリズム譜完成。 本番の流れ、対策説明。
9	7級デモ試験。
10	自由曲演奏。 自由曲(4~5曲)は夏期休業中宿題。
11	7級A課題復習。 7級B課題復習。 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
12	初見演奏対策、テンポキープ(チームA) 7級B課題練習(チームB)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
13	初見演奏対策、テンポキープ(チームB) 7級B課題練習(チームA)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
14	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
15	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
16	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
17	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムスセオリー II		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーティン課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>【目標設定をしよう！】</p> <p>1年生時の見直し、2年生時としての動機付け、卒業後の目標設定 筋トレ、コアトレーニング実施、ドラムセッティングチェック実施。</p>
2	<p>【自分の限界を知ろう！】</p> <p>簡単な8ビートをゆっくりなテンポ(BPM60)から、速いテンポ(BPM200)まで徐々にあげていき 自分がどれだけ叩けないかを知る。</p>
3	<p>【ノリを一定に保とう！】①</p> <p>ハイハットを4、8と刻みを変化させ、テンポキープするがノリを一定に保つ練習 一定なリズムを作ってから、アクセントを付けてビートのバリエーションを知る。</p>
4	<p>【ノリを一定に保とう！】②</p> <p>実際に使用されている曲からピックアップして、実践的にリズムキープ。 ビートのバリエーションを更を知る。</p>
5	<p>【ノリを一定に保とう！】③ ※5月まとめ</p> <p>ギターのためのインスト曲に自分が考えたリズムフレーズを付けて叩いてみよう。</p>
6	<p>【有名アーティストのフレーズを叩こう！】①</p> <p>歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。</p>
7	<p>【有名アーティストのフレーズを叩こう！】②</p> <p>歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。</p>
8	<p>【前期課題配布】</p> <p>前期行った事を踏まえた課題をピックアップ。 次週にオーディション形式で課題チェックを行う</p>
9	前期課題チェックテスト
10	<p>後期は実践形式で授業を行う。</p> <p>一つのライブ行うとしたら？を課題とし、自由曲と題して、10曲+アンコール2曲で全12曲用意。 実際にLIVEを行う気持ちで12曲を叩ける事が目標。最終日に全曲通し。</p>
11	<p>【自由曲練習】①</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
12	<p>【自由曲練習】②</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
13	<p>【自由曲練習】③</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
14	中間発表 自由曲12曲を披露
15	<p>【自由曲練習】④</p> <p>全体の流れ、曲順番、構成の再チェック。</p>
16	<p>【自由曲練習】⑤</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
17	模擬LIVE①

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	30 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲④
9	前期末課題曲テスト
10	課題曲⑤
11	課題曲⑤
12	課題曲⑥
13	課題曲⑥
14	課題曲⑦
15	後期末課題曲テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。